

伸びゆくアジアへ、九州から環境の新しい風を

## 2010年度 九州－中国遼寧省・山東省 環境ビジネスミッション

—ミッション団を遼寧省（大連・瀋陽）、山東省（青島）へ派遣—



[麻生会長による講演]



[第2回環境産業交流会議]

K-RIPでは、2007年度にJETRO RIT事業の採択を受け、九州－中国遼寧省の環境ビジネス展開に向けた一連の事業を3カ年計画でスタートしました。その間、2009年2月にはK-RIPと大連市政府とのMOU締結、2010年1月には大連市政府幹部との交流会議を行うなど、交流内容も深化しています。

4年目となる今回は、2011年1月18日－22日の日程で、中国遼寧省大連市及び瀋陽市に「九州－遼寧省（大連・瀋陽）環境ビジネスミッション」を派遣し、大連市及び瀋陽市の両地域において商談会、現地企業視察、大連市において環境産業交流会議、環境セミナーなどを行いました。

また、初めての試みとして、地域間・クラスター間の連携により、近畿経済産業局及び関西の環境クラスター（Team E-Kansai：関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラム）との合同ミッションとして実施しました。

さらに、遼寧省との産業交流の実績とノウハウを踏まえて水平展開を図るべく、今年度からのJETRO RIT事業である山東省（青島市等）との相互交流の一環として、中国企業と日本企業との環境ビジネスの促進に向け、2011年3月2日－5日の日程で、青島市に「九州－山東省（青島）環境ビジネスミッション」を派遣しました。同ミッションでは、環境ビジネスセミナー、商談会、交流会、現地企業視察などを行いました。

I. 九州-遼寧省 (大連・瀋陽) 環境ビジネスミッション

今回のミッションは、九州経済産業局 滝本局長、K-RIP 麻生会長（(株)麻生 代表取締役会長）の参加もあり、27 企業・団体、総勢 48 名の大規模なミッションとなりました。同ミッションでは、「九州-大連環境産業セミナー」や、MOU に基づく「第 2 回大連市人民政府並びに K-RIP・九州経済産業局・近畿経済産業局の環境産業交流会議」を大連市にて開催した他、大連市、瀋陽市の 2 箇所で開催した商談会、既に九州から中国に進出して成功を収めている企業の現地視察等を実施しました。

今回は、九州と関西の環境クラスターの広域連携事業として、初の合同ミッションとなりましたが、参加者の皆様からは、商談会における大連・瀋陽の企業との商談や情報交換、大連進出のワンストップサービスを提供する大連日本環境産業テクノパークの現地視察等に加えて、関西企業との連携もでき、充実したプログラムであったとの高い評価をいただきました。

特に、Team E-Kansai の取組みは、中国の水・環境問題に対するソリューション企業連合であり、今後の K-RIP の活動の上で有益となりました。

1 月 19 日 (水)

■九州-大連環境産業セミナー

10:00~12:00 (大連シャングリラホテル 3F 「Ballroom A」)

大連市政府及び環境ビジネス関係者等に対して、環境保護と経済活性化の両立が必要不可欠であることを周知するための環境セミナーを開催したところ、約 270 名 (九州側約 70 名、中国側約 200 名) が参加し、参加者からは活発な質問や意見交換が行われました。

1. 主催者挨拶 (九州経済産業局長 滝本 徹)
2. 講演
  - (1) アジア低炭素化センターと日中循環型都市協力事業  
(北九州市環境局長 佐藤 恵和)
  - (2) 新たな地域経済発展モデルの共創に向けた、  
日中環境産業協力の強化  
(大連市環境保護局 国際合作処長 黄 建輝)
  - (3) 環境ビジネスのアジア展開を目指す K-RIP  
(K-RIP 会長 麻生 泰)
  - (4) 中日環境産業協力の民間プロセスの推進について  
(大連市環境保護産業協会会長 董 金慶)

■第 2 回環境産業交流会議

14:00~16:00 (大連シャングリラホテル 3F)

2009 年 2 月に K-RIP と大連市人民政府が締結した MOU (環境産業交流に関する覚書) に基づき、環境産業交流のさらなる推進を行うため、交流会議を開催しました。会議では具体的なビジネス展開に向けて 4 つの調印が結ばれ、3 件の具体的案件について大連市人民政府の協力を要望し、事業の円滑な推進について協力していくことを確認しました。

1. 冒頭挨拶：大連市董呈発主任、K-RIP 麻生会長、滝本局長
2. 環境ビジネス交流の今後の進展に向けて
3. 九州企業の要望などについて
  - ◆ 「大連清本再生水有限公司の大連保税區への移管について」  
(大連清本再生水有限公司)
  - ◆ 「大連進出を支援するプラットフォームの設立に向けて」  
(アマタホールディングス(株))
  - ◆ 「離島再生可能エネルギーマイクログリッド協力について」  
(株)安川電機
4. 調印式：
  - ◆ 「大連市での日中合弁会社設立に関する覚書について」  
(環境テクノス(株)及び大連春興水処理科技發展有限公司)
  - ◆ 「気体高濃度溶解技術 (NAC) の共同開発実験について」  
(サワテック(株)並びに北控 (大連) 開發建設有限公司及び大連日本環境産業テクノパーク)
  - ◆ 「遼寧省での生産及び営業支援体制に関する業務提携について」  
((株)エコファクトリー及び営口小雨集成房屋有限公司)
  - ◆ 「大連市での日本の環境企業の技術移転プラットフォームの構築について」  
(株)早稲田システムデザイン研究所及び大連日本環境産業テクノパーク)
5. 会議総括：滝本局長、大連市曹副市長

## ■九州・関西-遼寧省（大連）環境ビジネス商談会

13:00～16:30（大連シャングリラホテル 3F「Ballroom B」）

九州・関西からのミッション参加企業 21 社（九州 15 社、関西 6 社）と中国国内企業 35 社との間で商談会を実施しました。

トータルで 107 件の商談が行われ、今後の商談成約見込み 7 件（うち九州 7 件）、交渉継続 53 件（うち九州 45 件）にのぼるなど、大連市政府による環境改善の積極的な取組みから、水処理浄化技術など、環境汚染防止・浄化製品に対する関心が特に高く、環境機器へのニーズの高まりが感じられました。



[環境ビジネス商談会]

1月20日（木）

## ■「大連日本環境産業テクノパーク」視察

9:30～13:00

大連市花園口に建設が進められている「大連日本環境産業テクノパーク」を視察し、大連市花園口経済開発区の董呈發主任や本テクノパークの高木董事長から、各種支援策などの取組みについて、説明を受けました。

なお、本テクノパークは、本年 6 月頃に第 1 期工事が竣工予定。



[大連日本環境産業テクノパーク交流会]

1月21日（金）

## ■中国環境企業視察（瀋陽秋実再生資源企業集团有限公司）

8:30～10:40

中国国内の大手リサイクル企業グループである「秋実」において、姜（ろう）総経理及び瀋陽市環境保護局、瀋陽近海経済区招商局も交えた意見交換を行い、自動車リサイクルサイトを見学しました。



[瀋陽自動車リサイクル工場視察・意見交換]

## ■九州・関西-遼寧省（瀋陽）省エネ・環境ビジネス商談会

14:00～17:00（瀋陽フラマホテル 6F）

遼寧省関係者等との開会セレモニーの後、九州、関西からのミッション参加企業それぞれ 11 社、6 社と中国企業 37 社との間で商談会を実施しました。

商談件数はトータルで 96 件におよび、今後の商談成約見込みが 5 件（うち九州 2 件）、交渉継続案件は 44 件（うち九州 28 件）にのぼるなど、会場は熱気に包まれました。

九州企業が保有する環境技術に対して、高い関心を示す中国企業があるなど、中国の経済発展に伴う環境対策は待ったなしの実情が垣間見えました。

## II. 九州-山東省（青島）環境ビジネスミッション

今年度からJETRO RIT事業の採択を受け、青島市にミッション団を派遣し、環境ビジネスセミナー、九州-山東省環境ビジネス商談会、交流会、現地企業の視察等を行いました。

### 九州-山東省（青島）環境ビジネスミッション 概要

- ・日程：2011年3月2日（水）～5日（土）
- ・参加者：民間企業及び団体からの参加者数19社、総勢35名
- ・行程概要：**【2日】** 移動（福岡からソウル経由で青島へ）
  1. ジェトロ青島事務所によるオリエンテーション
- 【3日】** 2. 現地研究機関等視察（2件）
  3. 九州・山東省（青島）環境ビジネスセミナー  
参加者129名（うち日本側34名）
  4. 九州-山東省環境ビジネス商談会  
参加企業数58社（日本側18社、中国側40社） 商談件数70件
- 【4日】** 5. 現地企業視察4件  
（水資源浄化施設、廃水処理施設、資源リサイクル工場等）
- 【5日】** 移動（青島からソウル経由で福岡へ）



[九州-山東省（青島）環境ビジネスセミナー]



[環境ビジネス商談会]

生物多様性×環境技術

# 環境イノベーションフォーラム開催

－九州の産地力を高めよ！地場産業と環境技術の地域内セッション－

南九州における農商工連携による新事業創出を目的とした交流型フォーラム「環境イノベーションフォーラム」が平成23年2月9日（水）、鹿児島市・鹿児島サンロイヤルホテルで行われました。今回はK-RIPと九州産業技術センター、九州経済連合会、環境省九州環境パートナーシップ（EPO九州）の主催で開催し、生物多様性に関する基調講演と地域課題に応じた環境技術紹介のプレゼンテーションを実施いたしました。参加者は企業、自治体、NPOなど様々な立場の方が約120名出席され、盛況のうちに終了しました。

基調講演ではNPO法人くすの木自然館の浜本奈鼓専務理事から、「生物多様性と一次産業」をテーマに分かりやすいご講演をいただきました。また、環境技術事例紹介では、養豚・養鶏における糞尿処理システムやバイオマスの有効活用、食品廃棄物のリサイクル、竹を素材とした紙作り等についての技術が発表されました。

最後に行われた懇親会も、多くの方が出席され、交流を深めることができました。



浜本奈鼓氏による基調講演



企業によるプレゼンの模様

## 九州の企業・大学等による環境技術・活動事例紹介

	企業・団体名(所在地)	テーマ
①	雲海酒造(株)	養豚・養鶏における消滅型完全糞尿処理システム
②	鹿児島大学(筒井俊雄教授)	バイオ・リファイナリーによる持続可能な社会の創出と地域活性化
③	(株)熊本清掃社	バイオプラザ式食品リサイクルについて
④	中越パルプ工業(株)	地域森林資源の有効利用による紙作り
⑤	NPO 法人九州環境保全循環システム	生ごみ、廃食油の再生利用で築く減CO <sub>2</sub> バイオマスタウン多良木
⑥	NPO 法人循環生活研究所	小さな循環いーくらし～コンポストでつながるコミュニティづくり～

# 環境ネットワークと学びの場「エコ塾」

－毎月第1水曜日開催－

## 第44回エコ塾（1月11日）

### ○「トレーラー移動式オンサイト炭化装置（カーボX-Ⅱ）によるビジネス展開について」

発表者：株式会社 SUMIDA

代表取締役社長 入江 康雄 氏

概要：SUMIDAの開発したトレーラー移動式炭化熱分解装置について講演いただきました。薄く広く散在するバイオマス（間伐材、竹、家畜糞尿など）を現場で熱分解・炭化をおこなうことで、新たな資源循環が起きます。この装置により上下水道等の浄化用活性炭の再生や畜産廃棄物等の減容化・無臭化が出来るほか、最近問題の鳥インフルエンザを始めとした感染性医療廃棄物の滅菌、焼却などを現地で行えます。



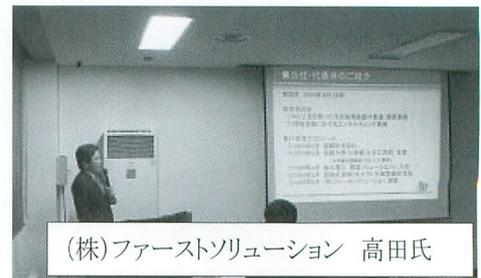
### ○「ある環境ベンチャー企業の挑戦！」

（汚泥の脱水・浄化から搬出までをワンストップで完結可能なMC工法）」

発表者：株式会社 ファーストソリューション

代表取締役 高田 将文 氏

概要：ファーストソリューションは、凝集剤、高速汚泥反応装置、脱水袋の三位一体で汚泥処理を行うMC（メッシュカット）工法についてお話しいただきました。MC工法は、国土交通省 NETIS認定工法でもあります。汚泥の脱水・浄化から搬出までの業務をワンストップで完結させることができ、これまでのバキューム車による搬出・処分に比べ処理コストを約3分の1まで削減することが可能となります。



## 平成22年度九州環境セミナー ～拡大版エコ塾in大分～

(第45回エコ塾：2月3日)

環境分野の人的交流、企業間交流の活性化を目的として、毎月1回開催している「エコ塾」を九州全域にエコ塾の取組が広がることを目的として平成20年度より「九州環境セミナー」と銘打って出張版エコ塾を開催している。今年度は大分県にて「平成22年度九州環境セミナー～拡大版エコ塾in大分～」を開催しました。当日は80名を超える参加があり、各参加者による活発な質疑や意見交換が行われました。

※詳しい内容をお聞きになりたい場合は、K-RIP事務局までご連絡下さい。事務局から講演者に連絡を取ります。

## &lt;開催内容&gt;

- ・開催日時：平成23年2月3日（木） 14：00～19：30（交流会含む）
- ・会場：大分県 労働福祉会館ソレイユ7F（講演会：アイリス、交流会：カトレア）

## &lt;講演内容&gt;

## ○「低圧蒸気乾燥器【何でも乾（かわ）くん】のご紹介と廃棄物燃料化のご提案」

発表者：研機株式会社 代表取締役 森山 秀行 氏

概要：火を使わずに木材固形物から付着性の強い汚泥まで1台で乾燥できる乾燥器「何でも乾くん」についてお話しいただきました。乾燥器を用いることで減容化や堆肥化、燃料化が可能となり、バイオマスや有機物を乾燥させ代替燃料として利用することで化石燃料の枯渇対策やCO<sub>2</sub>削減などにも貢献できます。

## ○「悪化する世界の水の浄化を備えた熱感染症の原因となる『蚊』の発生防止剤のご提案」

発表者：株式会社 ビッグバイオ 専務取締役 岩下 智明 氏

概要：世界では『蚊』を媒体とするマラリア・デング熱などの感染症で多くの死者がでており、特に東南アジアなどでは『蚊』の発生そのものを抑えることが重要となっています。納豆菌群を用いた水質浄化に取り組む、ビッグバイオが開発した蚊の発生防止水質浄化剤「ZERO MOZ」についてその性能や開発秘話、世界にでてビジネスを行う上での戦略、苦労など様々なテーマでお話しいただきました。

## ○「環境・リサイクル分野における調査コンサルタント」

発表者：株式会社 三菱化学テクノリサーチ 九州センター長 川畑 明 氏

概要：調査コンサルティング（調査、解析、提言など）事業を行う、三菱化学テクノリサーチは、これまで実績をベースに様々なデータベースを構築しています。今回は環境・リサイクル分野における事業の取組紹介やそこから得られたデータ分析を行っていただき、環境市場の動向についてお話しいただきました。

○「造粒固化技術を用いたR P F 燃焼灰のコンクリート用骨材としての製造方法の確立とエココンクリートへの適用性、用途開発に関する研究」

発表者：株式会社 東部開発 主任 安部 義紀 氏

概要：リサイクルが困難な紙屑や木屑、廃プラスチックを用いて製造したR P F 固形燃料の燃焼灰の完全リサイクル方法の確立についてお話いただきました。現在は、造粒固化技術を用い産学共同研究によってコンクリート用骨材の製造方法や適用の把握、適切な用途開発を行っており、そこからできるコンクリートは水、セメント以外の材料が全て再生材料という環境に配慮したエココンクリートが製造されます。



会場の様子



K-RIP の取組について語る大崎 C

### 第46回エコ塾 (3月2日)

○「無電極ランプを利用した省エネルギー」

発表者：株式会社 LVD JAPAN 専務取締役 岡部 哲也 氏

概要：電磁誘導と放電の発光原理に基づいた無電極ランプ「HALO」をご紹介いただきました。



蛍光灯などのようにフィラメント電極がないためランプが半永久的に点灯可能と、LEDと比べても長寿命で光源減少率が少ないなどの多くの優位性を持つランプでした。導入事例による省エネルギー効果についてもご説明いただいたほか、実際の製品を用いた実演も行っていました。(電源の抜き差しによる瞬時再点灯)

(株)LVD JAPAN 岡部氏

○「農業・畜産を守る必需品。抗菌・抗ウィルス・遮熱塗布材」

発表者：合同会社 グリーン環境マテリアル 企画部長 早見 隼人 氏

概要：口蹄疫や鶏インフルエンザのような伝染病対策に用いられる消石灰ですが、風による飛散などによって効果の持続性が低いなど欠点も多く農業・畜産関係者の問題となっていました。



グリーン環境マテリアルではこの問題を改善し消石灰の持つ利点をのばした「塗って固まる消石灰“せっかいSR S”」を開発しました。講師の情熱あふれるお話しと開発に至るまでの経緯は非常に印象的でした。

参加者の質問に答えるグリーン環境マテリアル 早見氏

## 22年度新規会員企業紹介

今年度（平成 23 年 2 月現在）、K-RIP には 24 社（法人）の新規会員が入会されました。このページでは、22 年度 K-RIP に新規加入されました会員を、前号に引き続きご紹介致します。

### 株式会社 宮防

事業内容 防水工事・建築工事・遮熱塗装工事・外壁補修工事・耐震補強工事  
太陽光発電設置事業・農畜産コンサルティング業務

弊社は宮崎県で防水工事業として設立し今年ちょうど 40 年の節目を迎えます。

ー昨年より新規時事業部といたしまして、環境改善事業を行っております。

室内温度上昇を抑制します遮熱塗料を開発しまして、一般住宅はじめ、畜舎、飼料タンク、生コン車などの施工及び塗料販売を展開しております。

今後たくさんの業種の方々と交流を深め、社会に貢献できる企業を目指していきたいと思っております。

〒880-0911 宮崎市大字田吉 1886 番地

TEL:0985-53-1008 FAX:0985-53-1044 URL: <http://www.miyabo.co.jp/>

### アマタホールディングス株式会社

アマタグループは、「信頼」をかたちにすることで持続可能社会の実現を目指す、リーディング・カンパニー・グループです。

#### ●地上資源事業

地下資源に代わる新たな資源を創る

#### ●環境ソリューション事業

一次産業から三次産業まで、幅広い分野でソリューションを提供

#### ●自然産業創出事業

地域が持つ自然の価値を高め、持続可能な地域づくりを支援

〒102-0075 東京都千代田区三番町28番地

TEL:03-5215-7766 FAX:03-5215-8260 URL: <http://www.amita-net.co.jp/>

### 株式会社 エコライフ

2010年4月に設立したばかりの新しい会社です。磁石の力で有機性産業廃棄物を熱分解する装置（商標名：世直し釜）を開発販売しています。

産業廃棄物処理のコストダウンの一環として、営業ツールとしてご検討下さい。

ゼロエミッション活動に貢献し、環境にやさしい経営のお役に立ちます。

〒806-0045 北九州市八幡西区竹末1-2-3

TEL:093-644-1800 FAX:093-644-1801 URL:<http://www.a-levelup.com/homepage/?id=20661>

## 日本乾溜工業株式会社

土木建設事業・防災安全事業・化学品事業の3つを基幹事業として展開しています。

### ●土木建設事業

道路における交通の安全を確保するために必要な交通安全施設、法面、景観、土木等の工事および資材販売を行っています。

### ●防災安全事業

もしもの災害に備えた防災用品や作業中の事故から労働者の身を守り安全を確保するための安全衛生用品等の販売を行っています。

### ●化学品事業

不溶性硫黄・防草土の製造を行っています。

〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目11番11号

TEL:092-632-1050 FAX:092-632-1082 URL:<http://www.kanryu.co.jp/>

## 豊栄物産株式会社

弊社のシステムは、採卵養鶏農家の採算・環境・現場作業など経営面を強力に助ける

システムであると自負しており、九州、中国地方を中心に十数社で導入実績があります。

短期間で普及した最大の要因は、販売業者の我々は当然のこと、採卵養鶏業者に最もメリットがあること。すなわち、採卵養鶏業者の最大の悩みである、『悪臭対策』『鶏糞処理』の問題を費用を低く抑えて解決できたことです。

〒890-0064 鹿児島市鴨池新町15番地JA会館内

TEL:099-253-3178 FAX:099-256-3319 URL:<http://www.hoeibussan.com/>

## 株式会社 豊解体工業

### 【企業概要】

企業理念『「よりよい環境をつくり、よりよいきっかけを提供すること」をモットーとし、連携チームワークで大切な地球とそこに住む人々の笑顔溢れる未来創りに貢献します。』を意識した革新事業にチャレンジしている企業であります。

### 【環境関連の主な事業・サービス】

建造物解体工事・廃棄物収集運搬、処分業を中心とした「環境整備事業」を主な事業として行いながら、係わりあうステークスホルダーへの情報発信・コンサルティング事業・教育支援事業を展開してまいります。

〒832-0052 柳川市佃町1312-6

TEL:0944-72-4593 FAX:0944-73-9204

## 大石建設株式会社

### 【海底の掃除機】サブマリנקリーナー（SMC）工法

海底の土砂及び海底に堆積した有機物・浮泥又は有害物質（TBT・ダイオキシン・PCB）を濁らず（密閉式の為2次拡散することなく）に10cm除去する技術

### 【工法の適用工事】

- ・漁港・港湾の浮泥の除去
- ・養殖場の底質除去
- ・漁場再生のための海底耕耘
- ・港湾内のヘドロの除去

〒852-8003 長崎市旭町6-1

TEL:095-834-1200 FAX:095-834-1201 URL:<http://ohishi-net.co.jp/>

## 野田市電子株式会社

### 【企業概要】

お客様に満足していただくために、より正確で精度の高い分析データを迅速にお届けし、21世紀の地球環境づくりに貢献します。

### 【環境関連の主な事業・サービス】

水質・大気・悪臭・土壌・騒音振動調査分析・作業環境測定・水道法指定検査機関  
 ・大点立地法コンサル・残留農薬・シックハウス検査・絶縁油中 PCB 検査・石綿  
 (アスベスト) 調査分析・省エネルギー計算・RoHS 分析等

〒860-0823 熊本市世安町 335 番地

TEL : 096-322-0050 FAX:096-322-0056 URL:http://www.nodaichig.jp/

## 研機株式会社

### 【企業概要】

化石燃料の枯渇問題の解決、地球温暖化ガス CO2 削減に資源リサイクルを通して貢献できるような有機物、バイオマス資源を乾燥させ化石燃料代替燃料化システムの構築を行っています。

### 【環境関連の主な事業・サービス】

火を使用しない余った蒸気を熱源とした排熱利用の乾燥機の製作、販売を行っております。今乾燥機は木材固形物から付着性の強い汚泥まで1台で乾燥ができあらゆる有機廃棄物、バイオマスを乾燥させ燃料化することができます。

〒812-0006 福岡市博多区上牟田 3-9-7

TEL : 092-411-1203 FAX:092-411-1259 URL:http://www.kenmori.com/

## 株式会社 ブルーアーキテクトアジア

### 【企業概要】

弊社は、株式会社日本計画機構の九州地域での営業サポート会社です。

下記内容は株式会社日本計画機構を記載します。

### 【環境関連の主な事業・サービス】

バイオマスを活用した水素エネルギー・電気・熱の供給事業・プラント建設の提案とそれに伴うビジネスモデルの構築・運営支援を行います。

〒878-0011 竹田市大字会々 1636-58

TEL : 0974-64-0105 FAX:0974-64-0106

## 株式会社 三菱化学テクノリサーチ

### 【企業概要】

科学技術・産業分野に特徴を有するシンクタンク

### 【環境関連の主な事業・サービス】

環境・リサイクル分野等における九州地域内企業に関する調査やコンサルタント

〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石 1-1

TEL : 093-643-2546 FAX:093-643-2547 URL: http://www.mctr.co.jp/

## インフォメーション

未来に向けた環境プロジェクトを支援する

平成 23 年度 K-RIP プロジェクト募集開始！

K-RIP では会員の産学官連携による研究開発や事業化に向けたスタートアッププロジェクトに対して一部資金の助成や専門家によるアドバイス等の支援を行う「K-RIP プロジェクト」事業を実施しています。過去に採択されたプロジェクトの中には、採択をきっかけに事業内容を高度化させ、国や自治体の助成プログラムに採択されたり、K-RIP ネットワークによる事業拡大や異業種連携を推進しているケースが多数創出されています。皆様の応募をお待ちしております。

- 応募資格：K-RIP 会員もしくは、K-RIP プロジェクト応募時に入会する者。
- 募集期間：平成 23 年 3 月 11 日（金）～4 月 8 日（金）
- 選考：4 月下旬に開催される K-RIP プロジェクト審査会においてプレゼンテーション審査を行い、採択プロジェクトを決定します。  
(応募者多数の場合等には、書類選考を行います。)

○採択件数：3～4 件程度

○支援メニュー例：

- ①K-RIPプロジェクトとしての認知・広報・成果発表会の場の提供
- ②関連情報の提供、アドバイザー（専門家）派遣
- ③地方自治体等関係機関との連携支援
- ④補助金・融資制度等の情報提供
- ⑤研究会等の運営経費（上限100万円）の助成 等

※認定されたK-RIPプロジェクトへの支援内容については、ビジネス創出部会幹事会が外部機関の協力も得た上で決定します。

応募方法などの詳細は、K-RIPホームページの「K-RIPプロジェクト」をご参照ください。不明な点はK-RIP事務局までお問い合わせください。

<http://www.k-rip.gr.jp>

各イベントの詳細な内容は後日、K-RIPホームページに掲載しますので、そちらをご覧ください。

**[Kyushu Recycle and Environmental Industry Plaza] (K-RIP)**  
九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ (K-RIP) 事務局



〒812-0013  
福岡市博多区博多駅東2丁目13-24  
（財）九州産業技術センター内  
TEL 092-474-0042  
FAX 092-472-6609  
URL <http://www.k-rip.gr.jp/>  
e-mail [info@k-rip.gr.jp](mailto:info@k-rip.gr.jp)



平成  
23年  
3月  
発行